

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会ニュース



発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長 岩本邦雄
編集 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会広報部会
発行所 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会事務局 TEL&FAX 045-751-1010

県施設団体連合会との会合を開催

平成25年2月7日に県社会福祉会館において、神奈川県保連の呼びかけにより、県施設団体連合会との意見交換等の会合を開催した。施設団体連合会3名、神奈川県保連10名が出席した。

神奈川県保連から

24時間切れ目のない支援を

神奈川県保連は予てより全施連と連携し、一貫して、入所施設の役割や必要性について関係者に訴えてきた。現在、全施連は日本障害者協会(JD)の政策委員会に委員として加わり、知的障害者の生活の在り方や意思決定支援について積極的に意見を展開、障害者団体のなかに、徐々にではあるが24時間切れ目のない支援が必要であることが理解されつつある。

調査部会報告書Ⅲの

フォローアップ調査

神奈川県保連嶋田副会長から、神奈川県保連調査部会報告書「今、施設と利用者はⅢ」のフォローアップ調査について、この報告書は、施設関連施設の地域移行と高齢化対応の現況について取りまとめたもので、この貴重な資料を、報告書だけで終わらせることなく、各保護者会等の活動に生かしてもらおうという趣旨で、フォローアップ調査を実施

したことを述べ、調査内容の概要について説明した。

施設団体連合会から

人権擁護が大きな課題

施設団体連合会からは、安藤浩巳、中島博幸、阿部千鶴子の3氏が出席。

◆各氏それぞれの地域が抱える課題とその取り組み状況が報告された。「人権擁護」、「職員の不足とスキルアップ」等が各地域に共通する課題であった。

◆その他財政的な面での地域間格差の問題が報告されるなど、いずれも家族にとって関心の高い課題が説明された。

意見交換

1. 保護者会活動

◆保護者会活動には法人の理解が必要であること。

◆保護者の高齢化・核家族化などにより、保護者会活動にたいする関心が低くなり、対応が必要であること。

2. 支援現場の課題

◆職員の定着率が低いため、生活の場でのスキルがなかなか向上しない。

◆日中活動が手薄になるという制度上の問題等々、職員の待遇改善やスキルアップ、あるいは職員が働き甲斐を感じられるようにする必要がある。

3. 社会福祉法人の改革に関して

◆JDの政策委員会において法人改革議論が進められている。これらの具体的内容について議論したい。

◆社会福祉法人の改革の方向は専門化に進むのではないか。また、高齢化したらそれに対応できる施設に移れるようにする仕組みが出来るのではないか。

4. 今後の方向性

◆神奈川県保連としては、今後とも同連合会と連携を深め、活動を展開して行きたいと考えている。

◆県施設団体連合会からもテーマを絞れば具体的な話も進むと思うとのコメントが出され、双方が協力して課題の解決を図って行くことを確認した。

以上

障害を持つ人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川県保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426

2月3日開催の学習会グループ討議の概要報告

- ①施設設備面について ②施設の支援体制
③認知症・病弱化について ④保護者会の取り組み

※神奈川施保連ニュース40号の2頁もご参照下さい

1グループ (岩本、小川、勝俣、島村、高屋、露木、畑、水谷)

- ①エレベーターの設置 機械浴の設備 バリアフリー化と個室化を
②職員研修 夜間の支援体制 屋外散歩 誤嚥及び転倒防止策の充実
③医療行為のケア体制の不備 入院先の確保
④施設と保護者会のコミュニケーションを取る。

2グループ (金子、上村、樺澤、願化、鈴木、中塚、中野、浜田、山本加)

- ①機械浴設備の設置 トイレの改善 バリアフリー化を 而震が心配
②高齢化に対する支援体制の不備 職員の不足 夜間及び通院・入院の支援体制が手薄
③病弱化に伴う支援体制が不安 病弱化等に対する家族会とのルール作りが必要
④家族会と施設が対等に話し合う必要がある 保護者会と施設とのコミュニケーション作りが必要

3グループ (嶋田、岡部、小林、杉山昌、高橋、竹林、蜂谷、山本武)

- ①機械浴設備と1週間の入浴回数も改善の必要あり
②利用者個人の理解が不十分 施設職員に支援に関して遠慮なく要望する
③高齢化に関しては不安だらけである 特養等への移行 知的障害者に対応した特養が必要
④家族の保護者会活動への無関心か問題

4グループ (大矢、池谷、海老名、野中、林、原田、町田、湯田)

- ①車いすかすれ違いか到来ない エレベーターがない 歩行器等の補助制度があるか
②介護スキル 職員の研修
③病弱化が進行した場合の施設入所について 近隣の施設との連携は 支援の限界は?
④保護者会の活動を活発にする必要がある

5グループ (尾野、大澤、杉山紀、原、望月、山口、山田、山本秀)

- ①機械浴設備がない 災害対策に不安がある 支援職員の充実
②生活介護支援員の不足 若年職員の定着率が低い 非常勤職員の比率の上昇
③施設の対応を確認する 医療機関との対応を確認する ケアホームでの対応が困難な場合は施設に
④保護者の高齢化に伴う諸問題の対策を 行政への施設拡充の活動を 役員の固定化か問題

6グループ (松沼、板倉、倉林、木口、富居、服部、八田)

- ①設備の拡充 (機械浴設備等) 個室化を 入浴回数の改善
②職員の確保、増員を 職員の処遇改善 介護能力の向上 医療体制の確立
③施設における対応の限界の明確化を
④終の棲家か 家族会の存在価値を示す必要あり 高齢化の次か問題

総会までの理事会・常任会の予定

- 理事会⑥ 3月2日 (土) 10:00~15:00
海老名市総合福祉会館
理事会⑦ 4月7日 (日) 10:00~15:00
海老名市総合福祉会館
常任会⑤ 4月22日 (月) 10:00~13:00
県民センター9階
理事会⑧ 6月2日 (日) 9:30~13:00
海老名市文化会館会議室
理事会① 6月9日 (日) 10:00~15:00
海老名市総合福祉会館 (予定)
総会 7月7日 (日) 13:00~16:30
かながわ県民センター301
※詳細は追ってお知らせいたします

講演会のお知らせ

- 期日：6月2日 (日) 13:30~16:30 (予定)
会場：海老名市文化会館
演題：総合支援法のアップデート及び
施行後の地域生活移行推進の影響
講師：又村あおい氏
政策研究開発センター委員 (政策委員)
機関誌「手をつなぐ」編集委員
発達障害福祉連盟「発達障害白書」編集委員
早稲田大学法学部学術院コメンテーター
早稲田大学文化構想学部
現代人間論系臨時講師